

2006年度秋季大会の報告

2006年度秋季大会は、ウィルあいち（名古屋市東区上
豎杉町1番地）を会場として2006年10月25日（水）
～27日（金）に行われた。参加者数（前納登録者と当
日受付者の合計）は705名であった。

2日目午後には、ウィルあいちウィルホールにおい
て山本・正野論文賞が竹川暢之氏と猪上 淳氏に、堀
内賞が横内陽子氏と見延庄士郎氏に、奨励賞が木村誠
治氏と武田康男氏にそれぞれ授与された。授賞式に続
いて山本・正野論文賞及び堀内賞の受賞記念講演が行
われた。なお横内氏は都合により欠席し、大木淳至氏
が授賞式に代理出席した。記念講演に引き続き、大会
シンポジウム「台風—伊勢湾台風から50年を経て—」
が行われた。

講演は特定のテーマによる4件のスペシャルセッ
ションと一般口頭セッション及びポスターセッション

で行われた。講演申込み件数は412件で、その内訳は
スペシャルセッションを含めた口頭発表が232件、ポ
スター発表が180件であった。初日の25日には、新幹
線の一時運転停止の影響により数名の講演者が会場に
到着することができず、講演中止となるアクシデント
があった。

会期中およびその前日と翌日には、個別のテーマに
よる研究会が7件開かれた。

最後に、今大会事務局として大会準備・運営にご尽
力頂いた名古屋地方気象台、名古屋大学、愛知教育大
学、中部航空地方気象台、(財)日本気象協会東海支
社をはじめとする中部支部の皆様深く感謝の意を表
します。

2006年11月 講演企画委員会